令和４年第１回定例会　　港区議会議員
令和４年度予算特別委員会　　自民党議員団　小倉りえこ

令和４年度予算特別委員会の委員長を拝命いたしました。

通常、予算・決算特別委員会は通常議会棟４階の委員会室２室を拡張し、特別委員会室使用としています。

新型コロナウイルス感染症の影響がまだ大きい中で、議会も感染拡大防止対策をとりながらの開催が続けられています。この度の予算委員会では議場を使うことを提案し、議長の許可も得て、港区議会においては初めての試みとなります。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックから約２年、港区議会では感染対策をしながら議決機関として機能するべく、試行錯誤を重ねてきました。パンデミック直後の令和２年度の予算特別委員会では、感染拡大防止のため参集する人数を減らす目的から、我々自民党議員団発案で①行政側は必要最低限の出席者、②書面質問、の２点を軸に開催いたしました。

その後の決算及び予算特別委員会においては、①行政側は必要最低限の出席者、②各会派の出席人数は半数以上、と感染拡大防止対策を取り、対応を継続してきました。

しかしこのような対応が 2 年続き、行政側職員の委員会参加人数の抑制は、行政職員の経験不足という人材育成の点における課題もありました。将来の管理職候補の育成は非常に厳しい状況であったことから、通常の委員会室ではなく広い議場使用の提案をさせていただきました。

本会議場は傍聴席があることから、多くの行政職員にも利用いただくことが可能です。初めての試みであり、行政側も議会側も臨機応変な対応が必要になりますが、円滑な委員会運営を遂行いたします。